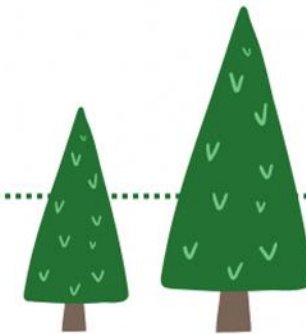


生涯学習施設に関する 意見交換会 (黒川地区区長会)

胎内市生涯学習課
令和7年11月11日



本日の流れ



1.開会

2.教育長あいさつ

3.説明 【15分程度】

(1) 胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）について

(2) 生涯学習施設のこれまでの経緯について

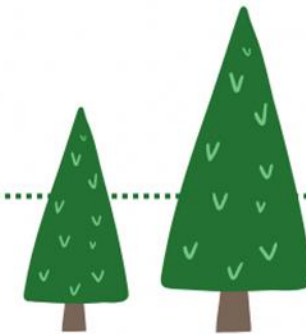
(3) 今後のスケジュールについて

4.意見聴取 【40分程度】

5.閉会

本資料中の基本構想とは「胎内市生涯学習施設整備基本構想」、基本計画（案）とは「胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）」を示します。なお、後者については10月1日から実施しているパブリックコメントで公表しているように一部見直しを実施しています。

(1) 基本計画（案）について

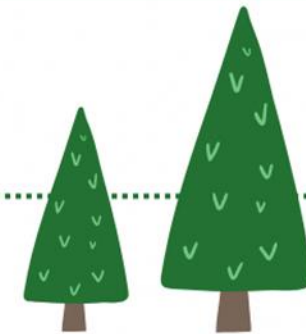


▷ 新たな生涯学習施設の基本的な考え方（コンセプト）

『つなぎ・育む』情報・文化・交流の拠点

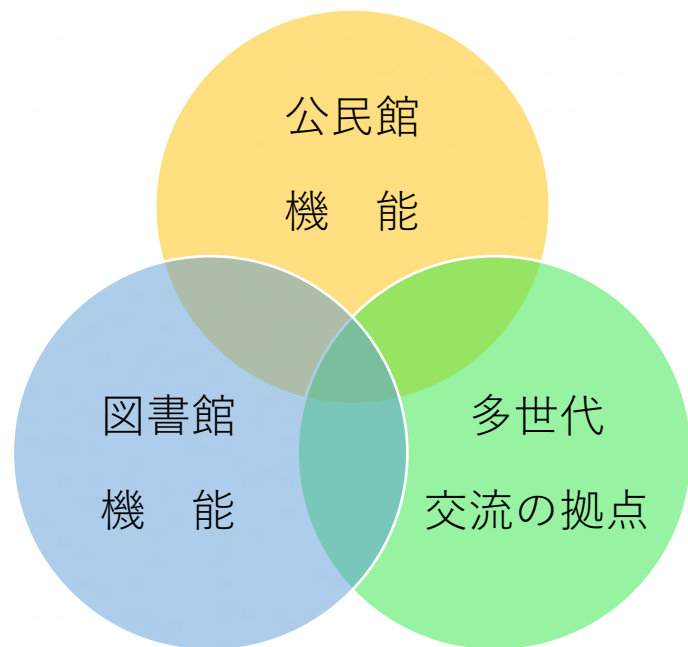
多世代交流拠点

(1) 基本計画（案）について（つづき）



▷施設のイメージ

市民が集い、学び、交流する場として、子どもから高齢者まで、さまざまなニーズに応じた活動ができる施設を目指します。



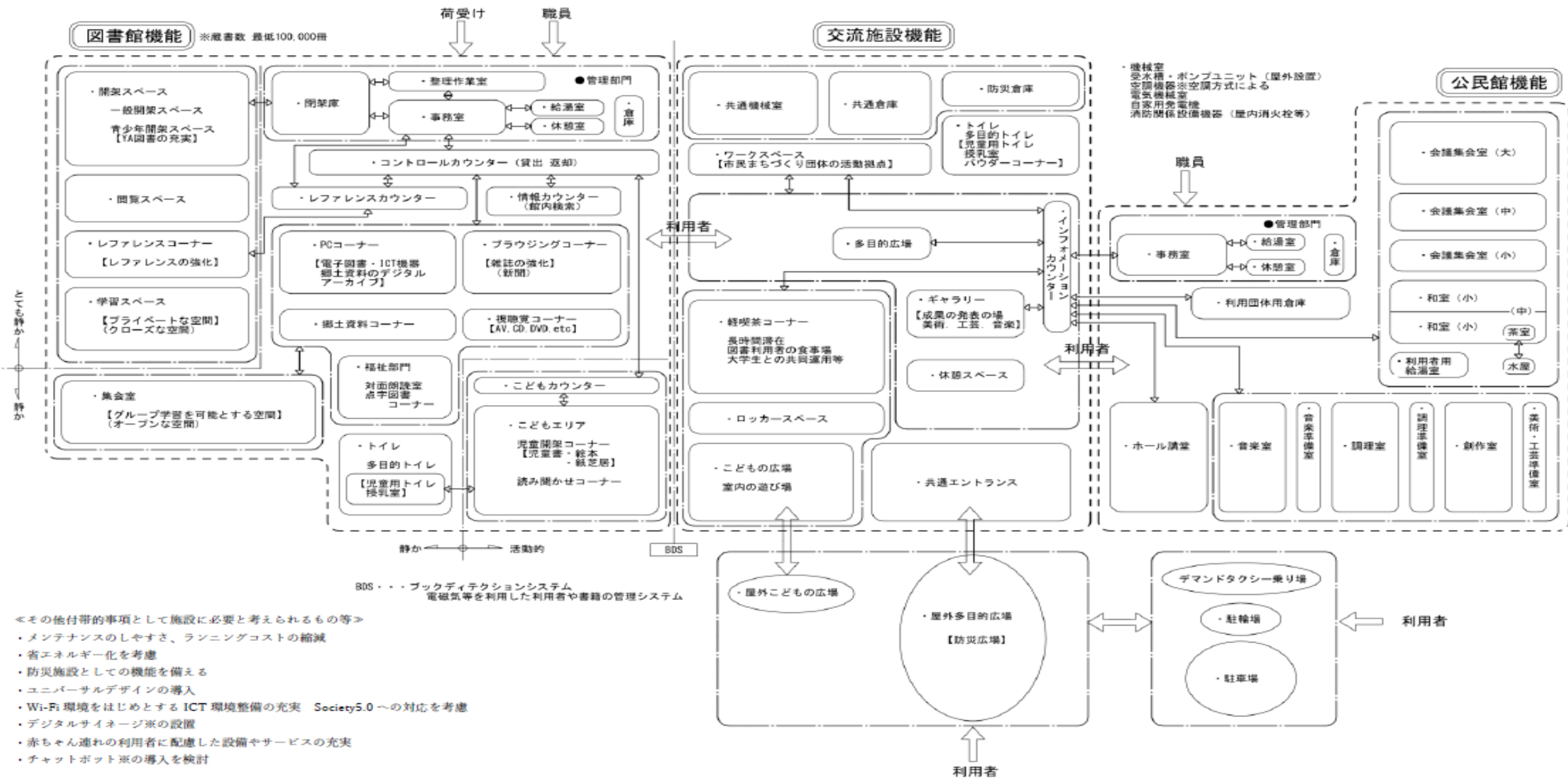
《建物内部》

- ・来館者が快適に過ごせるような、ゆったりとした空間

《屋外》

- ・子どもたちが自由に遊べる遊具施設を設けた広場
- ・多様な人々の交流を促進するための交流スペース

生涯学習施設機能検討図



≪その他付帯的事項として施設に必要と考えられるもの等≫

- ・メンテナンスのしやすさ、ランニングコストの削減
- ・省エネルギー化を考慮
- ・防災施設としての機能を備える
- ・ユニバーサルデザインの導入
- ・Wi-Fi環境をはじめとするICT環境整備の充実 Society5.0への対応を考慮
- ・デジタルサイネージ※の設置
- ・赤ちゃん連れの利用者に配慮した設備やサービスの充実
- ・チャットボット※の導入を検討

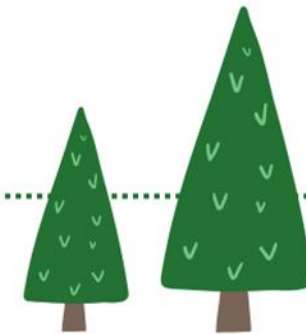
※デジタルサイネージ

電子ディスプレイを使って情報を表示するデジタル看板

※チャットボット

人工知能やプログラムを使って、自動で会話を行うコンピューターシステム

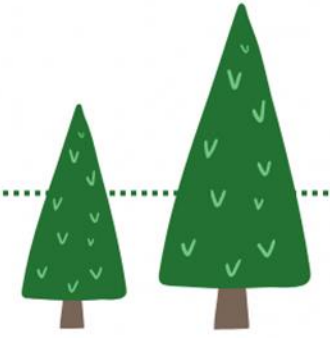
(1) 基本計画（案）について（つづき）



▷ 建設予定施設の規模・事業費

施設の規模	延床面積4,000㎡程度
事業費	45億円（最大値） ※設計者のアイデアや提案を取り入れながら、 可能な限り効率化縮小化を図り、一定以上のコスト削減に努めます。

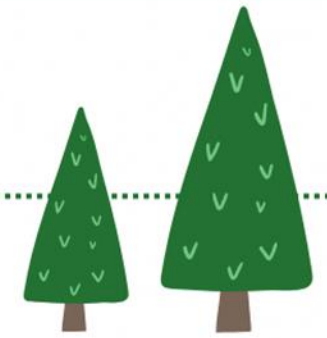
(1) 基本計画（案）について（つづき）



▷ 基本構想を踏まえた建設候補地に求められる条件

- ① ゆとりある開かれた空間の創出
- ② 周辺環境の保全・調和
- ③ 利用者の導線（施設へのアクセスのしやすさとゆとりあるスペースの確保）

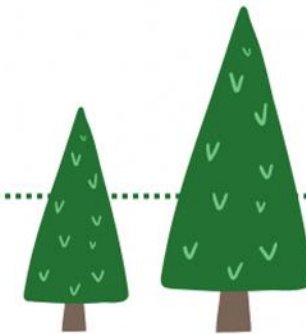
▶建設候補地について



- ①ふれすぽ胎内周辺
- ②中央公民館周辺
- ③中条駅周辺
- ④関沢地内（通称：嘉平山）
- ⑤旧柴橋小学校

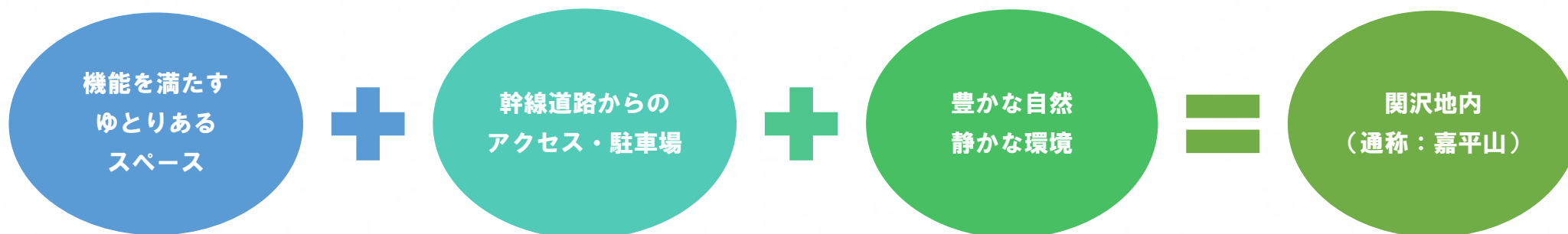
</

(1) 基本計画（案）について（つづき）



▷建設候補地について（当初）

新しい生涯学習施設の候補地として求められる条件を、これまで検討してきた場所に当てはめて現時点における計画段階の有力候補地を導き出しました。

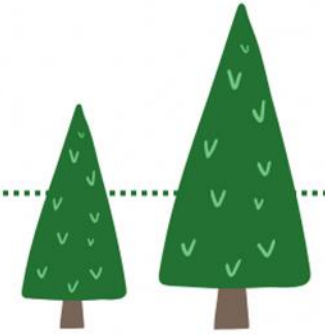
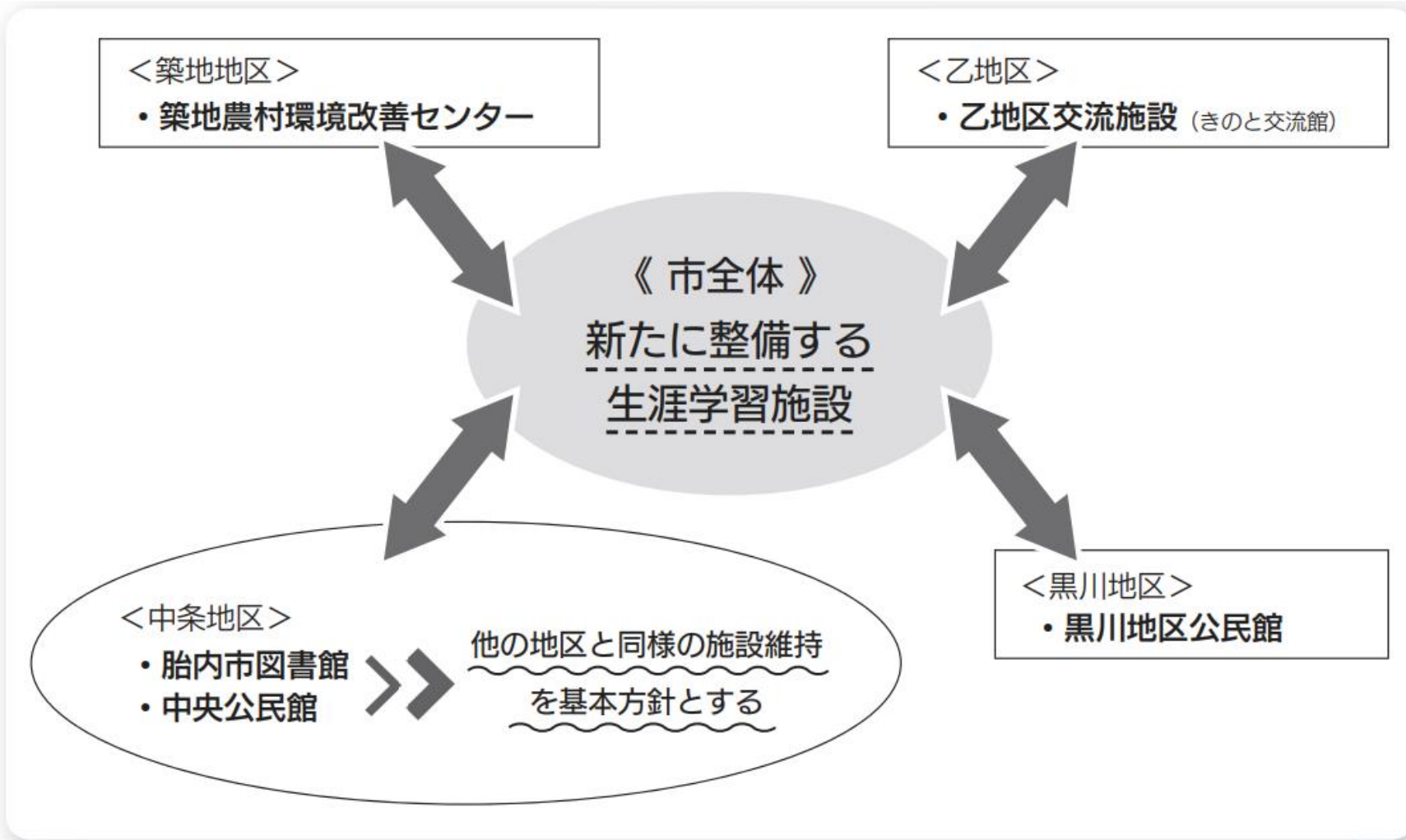


▷建設候補地について（見直し後・現時点）

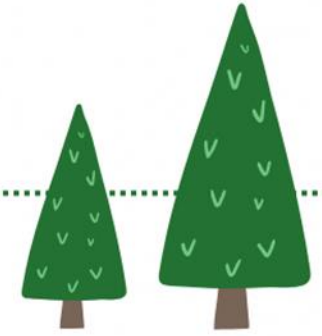
有力候補地の記載の代わりに比較表を掲載し、今後専門家や市民の方々に構成される審議会を設置して諮問をし、答申を得て最終的な判断をしていくこととしました。

(1) 基本計画（案）について（つづき）

中心市街地以外に建設された際の各施設のイメージ



(2) 生涯学習施設整備のこれまでの経緯



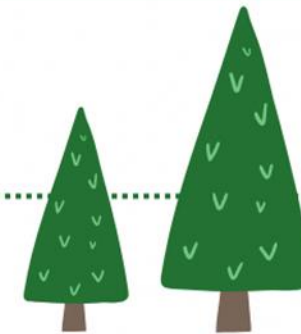
令和元年8月

➤ 胎内市生涯学習施設整備検討委員会の設置

以下の14名で構成し、協議を重ねました。

構成メンバー		
・ 副市長	・ 教育長	・ 関係課長
・ 社会教育委員	・ 図書館協議会委員	・ 公民館利用者
・ 教育関係者	・ 読み聞かせボランティア	
・ 商工会青年部	・ 地域おこし協力隊	ほか

(2) 生涯学習施設整備のこれまでの経緯（つづき）



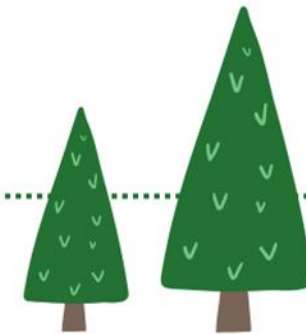
令和元年10月～11月

➤市民参加型ワークショップの開催（計3回）

公民館利用者、図書館利用者、小中高生、保護者、大学生、一般公募の方など延べ約80名が参加し、多様なご意見をいただいた。

求める機能	建設場所
・広さ、ゆとりのある空間 ・閲覧室や学習室の充実 ・音楽室 ・美術工芸室 ・小ホール ・カフェ ・子どもの遊び場 などの意見	・駅周辺 ・中央公民館、旧町体の場所 ・市役所周辺 など候補地の意見は分かれていた

(2) 生涯学習施設整備のこれまでの経緯（つづき）



令和元年12月～

➤ 書面による基本構想（案）について意見聴取

新型コロナウイルス感染症の蔓延

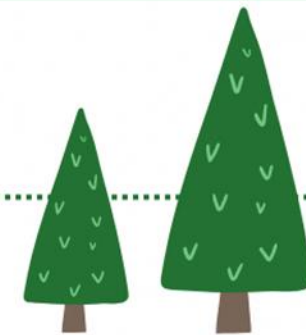


民間のノウハウや資金を活用した新たな整備手法の検討（PPP/PFI）

令和4年3月

➤ 基本構想修正（案） 書面協議

(2) 生涯学習施設整備のこれまでの経緯（つづき）



令和5年3月

➤基本構想策定

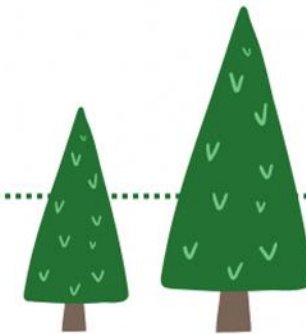
令和7年3月

➤基本計画（案）作成

図書館機能と公民館機能に加え、子ども・子育て世代を中心に多世代が集い交流する多世代交流機能を有し、子どもたちが自由にのびのびと遊べる屋内外の施設機能など総合的に実現できる場所...

関沢地内の市有地（通称：嘉平山）を最有力候補地として示した

(2) 生涯学習施設整備のこれまでの経緯（つづき）

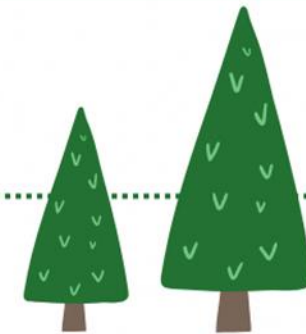


令和7年3月

➤令和元年当時の検討委員会・ワークショップ参加者による説明会の実施

対象	当時の検討委員会・ワークショップ参加者
内容	基本構想および基本計画（案）の報告
出席者	19名
主な意見	・ 緑に囲まれた環境は良い ・ 検討委員会では嘉平山は建設候補地に出ていなかったため、建設候補地を再考してほしい など
建設候補地について	反対・どちらともいえない 6名（32%） 異議はなし 13名（68%）

(2) 生涯学習施設整備のこれまでの経緯（つづき）



令和7年4月～6月

➤基本計画（案）に関する パブリックコメントの実施

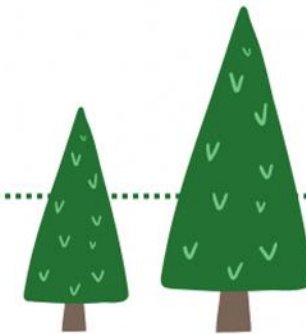


◎建設場所・立地に関して **1回目パブリックコメントで寄せられたご意見**

- ◆建設候補地の関沢地内（通称：嘉平山）は市街地から遠く（※）、徒歩などでの利用が難しいことから、高齢者や子ども、子育て世代が気軽に利用しにくいのではないかと。
- ◆5月21日付の新潟日報で、嘉平山が建設候補地であるかのように報じられ、十分な説明がないまま決定したように感じられた。
- ◆自動車を利用しない市民への配慮や、他の候補地の再検討、交流拠点としてふさわしい立地を慎重に選定すべきではないかと。

※実際には駅から1 km程度

(2) 生涯学習施設整備のこれまでの経緯（つづき）



令和7年5月

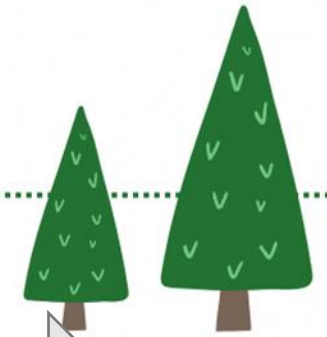
➤ まちづくり協働座談会の実施

対象	当時の検討委員会に加え、子育て世代の方々 など
子育て世代からの主な意見	・ 車利用が多いので広い駐車場が必要 ・ 屋外でのびのび遊べるスペースが欲しい ・ 小学生と幼児と一緒に遊べる屋内施設が市内にない など

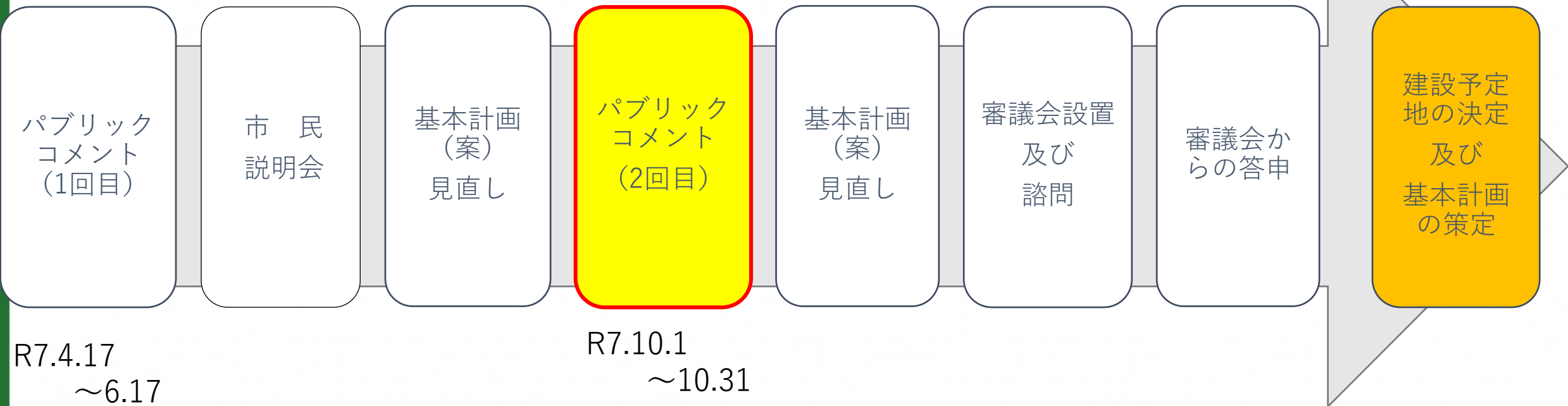
令和7年8月～ 中学校統合準備委員会 ※

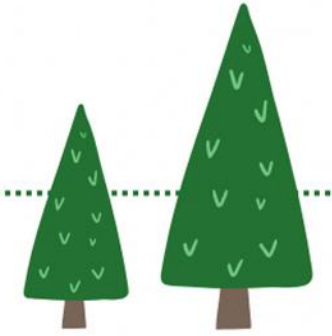
※中学校統合に係る検討内容との整合を図りつつ、望ましい施設整備につながるよう方向性を定めていく必要がある

(3) 今後のスケジュールについて



実施済





多くの市民の皆様に喜んでいただける
望ましい施設を目指して